



平成 22 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ニ レ コ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 秀 丸
 (JASDAQ コード番号 6 8 6 3)
 問 い 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 管 理 部 門 担 当
 長 塚 寛
 (TEL 042-642-3111)

繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 22 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において、繰延税金資産を取崩すこととなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績動向等を踏まえ平成 21 年 11 月 9 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は税効果会計に係る会計基準に従って繰延税金資産を計上しておりますが、当期の業績及び厳しい経営環境に鑑み、繰延税金資産の回収可能性について再度慎重に検討しました結果、当期末において十分な課税所得が見込めないため、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額に 83 百万円を計上することとしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,800	10	30	0	—
今回発表予想 (B)	6,400	△ 365	△ 355	△ 480	△ 65 68
増減額 (B-A)	△ 400	△ 375	△ 385	△ 480	△ 65 68
増減率	△ 5.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	8,031	205	38	△1,056	△118 43

(2) 修正の理由

第 3 四半期連結会計期間において、当社グループ (当社及び連結子会社) の主要取引先であります印刷業、紙加工業、電気部品メーカー、鉄鋼業及び化学工業等の業況は、一部で生産が回復するなどしたものの、設備投資については当社の想定以上に各取引先共に極めて慎重であり、依然として凍結あるいは中止で先行きの見込みが立たない状態が継続しております。

プロセス事業における主要取引先である国内鉄鋼業は、休止していた高炉の操業再開など生産量の回復の動きはありましたが、設備計画の凍結は継続しております。また、海外市場における中国やインドを初めとしたアジアの新興国での設備案件については全世界より業者が参入し、激的な受注競争が展開されております。この中で、比較的受注より売上までの期間の長いプロセス製品の当期の売上高については、ほぼ予想通りに推移しておりますが、前述のように、来期以降の売上につながる受注に関しては厳しい状況にあります。また、このような厳しい受注環境のなか、売上利益に関しましても一部に想定以上に低利益率となったものがあり、前回予想に比べ大きな利益減少要因となっております。

ウェブ事業及び検査機事業は、主要取引先全般において、いまだ設備投資の回復には至ってはならず、第 3 及び第 4 四半期連結会計期間の売上高は当初予想を大きく下回る見込みです。

このように、受注環境の改善が当社の予想していた時期よりも遅れている事などから、通期連結業績予想の売上高は前回公表した数値を下回る見込みです。

利益面におきましても、徹底した経費削減施策の実施などにより収益性の改善に努めたものの、売上高の大幅な減少や、先に記載したプロセス事業の低利益率オーダーなどの発生により、前回公表いたしました予想値を下回る見込みです。

また、「1. 繰延税金資産の取崩しについて」に記載のように繰延税金資産の一部を取崩す事としました。これらにより、当期純損失を計上する見込みです。

以 上

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって記載の予想と異なる結果となる可能性があります。